

札教生第 2770 号

令和 5 年(2023 年)12 月 26 日

札幌市 P T A 協議会

会長 中野 吉朗 様

札幌市教育委員会

教育長 檜田 英樹

(公印省略)

令和 6 年度「札幌市文教施策に関する要望書」への回答について

師走の候、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から本市の教育行政に格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび令和 5 年 10 月 26 日付けで御提出いただきました標記の要望書につきまして、別紙のとおり御回答いたします。

## 札幌市PTA協議会

### 令和6年度「札幌市文教施策に関する要望書」に対する回答書

: 所管課

要望内容	回 答
<b>【学校設備に関して】</b>	
<p>暑さ対策、熱中症対策として効果的なエアコンを早急に導入することを希望します。</p>	<p>子どもたちが夏季期間においても安全かつ快適に学ぶことができる環境を確保するため、令和9年度までに全市立幼稚園・学校の普通教室等にエアコンを整備するため取り組みを進めております。</p> <p>また、緊急措置として、令和6年夏までに保健室へのエアコン整備を進めるほか、令和6年度中に全ての保育室、普通教室及び特別支援学習室へ移動式エアコンを整備いたします。</p>
<b>学校施設課</b>	
<b>【教職員に関して】</b>	
<p>教員の様々な負担を軽減して資質・能力の向上に向けた取組を充実させるため、また子ども一人一人の発達を支える視点からも、教職員の増員・加配・専科教師の配置を希望します。</p>	<p>教職員の配置については、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」等の法令を標準に配置しています。</p> <p>教職員の負担を軽減し、子ども一人ひとりに合ったきめ細かな指導や、専門性の高い教科指導を充実させるため、小学校専科指導などの加配定数の増員について、今後も様々な機会を通じて、国に要望してまいります。</p> <p>また、教員一人ひとりが、自身の研修の履歴を振り返り、自らの強みや課題を明らかにした上で、主体的に研修を選択し、切れ目なく学び続けていくことができる研修体制を整備するなど、教員の資質・能力の向上が図れるように努めてまいります。</p>
<b>教職員課、教職員育成担当課</b>	

### 【不登校について】

様々な原因により不登校となっている子どもが年々増加しているため、教育支援センターにおいてもオンラインによる学習支援を行うなど、不登校児童生徒のための学びの場の確保に向けた取組の充実を希望します。

今年度より教育支援センター宮の沢に、新しくオンラインコースを設置し、学校や教育支援センターに通うことが難しい市内の小・中学生を対象にして、週2回の学習支援をメインにした取組を試行実施しているところです。

また、同じく今年度から教育支援センター未設置区である東区と清田区に、教育支援センターサテライトを設置し、これまで遠くて既存の教育支援センターに通うことができなかつた子どもでも通えるよう試行実施しております。

今後も不登校児童生徒のための学びの場の確保に向けた取組の充実に努めてまいります。

教育相談担当課

### 【悪天候時や災害等発生時の安全確保について】

災害等の発生時における登下校中の子どもの安全確保について、保護者も共通の理解で行動できるよう、平時からの積極的な情報の発信、及び、地域の小中学校での連携強化を希望します。

教育委員会では、家庭や地域社会と連携した危機管理体制の構築及び登下校時の安全確保の取組を進めているところです。また、災害等の発生及びその可能性が予測される場合には、必要な情報を学校と共有するなどして児童生徒の安全確保に努めています。

また、安全確保に係る対応については、地域の状況を踏まえて学校長が判断を行いますが、札幌市では、中学校区を基本単位とする小中一貫した教育のパートナー校で連絡を取り合い対応について協議するなど、小中学校の連携を図っています。

なお、現在整備している学校・保護者間連絡システム「すぐーる」については、緊急時等にて教育委員会から保護者等宛に連絡することが可能になるため、来年度以降、その活用についても検討しております。

教育課程担当課、児童生徒担当課